

令和3年6月18日

さいたま市長 清水勇人 様

さいたま市議会自由民主党議員団
団長 鶴崎敏康

新型コロナウイルス感染症対策等に関する要望及び提言

さいたま市議会自由民主党議員団は以下の項目について要望及び提言をいたします。

記

1. 県や防衛省、また、職域接種においても早期に接種が受けられるよう、64歳以下の市民に対し接種券を前倒しして配布すること、且つ、他自治体で行われている窓口配布など早期の配布を目指し柔軟な対応を検討すること。
2. 地域包括支援センターや母子福祉入所通所施設、また、障害児者入所通所施設、高齢者福祉通所施設等の職員に対してワクチン接種を早期に実施すること。
3. 市民や子供たちと接する機会のある市職員、幼稚園、及び小中高・特別支援学校の教職員関係者に対してワクチン接種を早期に実施すること。
4. 交通弱者の方の為に接種会場に行くまでの移動手段を確保すること。
※タクシーチケットの配布やコミュニティバス等の無料利用など。
5. 集団接種会場予約について、空き枠が出ないような仕組みを構築すること。また、予約キャンセルが出た際に、ワクチンが廃棄されることなく有効利用できる仕組みを明確にすること。
6. 集団接種会場で、1回目の接種を受けた方に対して2回目接種の予約についても確実に出来るようにすること。
7. インターネット及び電話の予約について、1回目接種の予約の際と同時に2回目接種の予約も可能とすること。
8. ワクチン接種者に対して、希望者には接種証明書を発行していくこと。
9. 集団接種会場におけるスタッフについては、必要に応じて柔軟に増員が出来るよう検討していくこと。
10. ナースセンターとこれまで以上に連携をとりマンパワーの確保に努めること。
11. 東京2020オリンピック・パラリンピックに関して、観戦を希望する中学生に対しては本人及び保護者の意思を最大限に尊重し観戦機会を設けること。
12. 「まん延防止等重点措置」が延長されたことによる市民生活や児童生徒たちの教育環境、経済損失等を改めて再考し適切な対策を講じていくこと。
13. 今後、議会への報告は迅速かつ適切に報告をすること。

以上